科目名	公的扶助論					開講 キャンパス	神 埼
担当者	木 場 千 春						
開講年次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本講義では「低所得者に対する支援と生活保護制度」について学ぶ。低所得階層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要とその実際について概説した上で、相談援助活動において必要となる生活保護制度や生活保護制度に係る他の法制度について説明する。また、自立支援プログラムの意義とその実際について紹介する。						
授業の 到達目標	1) 公的扶助の意義と役割について理解する。 2) 生活保護の目的と原理、原則を説明できる。 3) 生活保護制度の仕組みを理解する。 4) 生活保護制度の動向を説明できる。 5) SW が果たす役割について述べるができる。 6) 自立支援プログラムについて説明できる。 7) 公的扶助の課題を述べるができる。 8) 社福士国試の過去問を解き正答が導ける。						
学習方法	講義						
テキスト及 び参考書等	『MINERVA 社会福祉士養成テキストブック⑭公的扶助論[第2版]—低所得者に対する支援と生活保護制度—』ミネルヴァ書房、2013年						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○	○	○	○	80	
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	○	○	○	○	15	
授業態度			◎			5	
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	公的扶助の概念						
第 2 週	貧困・低所得者問題 (1)						
第 3 週	貧困・低所得者問題 (2)						
第 4 週	公的扶助の歴史 (1)						
第 5 週	公的扶助の歴史 (2)						
第 6 週	生活保護制度 (1)						
第 7 週	生活保護制度 (2)						
第 8 週	生活保護制度 (3)						
第 9 週	生活保護制度 (4)						
第 10 週	生活保護の実施体制と援助方法 (1)						
第 11 週	生活保護の実施体制と援助方法 (2)						
第 12 週	被保護層の動向と課題						
第 13 週	低所得・貧困層への他の政策						
第 14 週	低所得・貧困層に対する自立支援プログラムの動向と課題						
第 15 週	公的扶助とソーシャルワーク						
第 16 週	試験						
備考	【授業外学習】 ・授業中に社会福祉士国家試験の過去問を配布することがあるので、その内容を復習しておくこと。 【履修上の注意】 ・授業回数の1/3を超える欠席がある場合は、評価対象としない。						